

自分・仲間・学級 のいいね～誇れるものを磨く～

校長 西尾 英憲

2024年がスタートして1カ月がたち、3年生の残り登校日数は20日余りとなりました。あらためて本年もよろしくお願ひします。



1



2

冬休み明け七日福市の運営の方が、お礼を伝えたいとわざわざ中学校までおいでになりました。「七日福市では、中学生が早朝から汁粉の配布、ブースの運営などで気持ちよく働いてくれて、本当にありがたかった。予定していた汁粉配りが終わると、『能登半島沖地震の被災者支援募金箱』が置いてあるのに気づいて、自分たちで募金の呼びかけを10時から14時まで行ってくれた。言われて行うのではなく、自分たちで今できることを率先して行える生徒さんがいて、感動した。」と話してくださいました。生徒が、七日福市の活動に参加できるように支えるご家庭、そうした場面を設定して下さる地域の方のおかげで、生徒たちは自分でできることを考えて行動でき、自らに自信や誇りをもてたと思います。

3年生は1月25日に書道家の神谷敏行先生による書道教室を行いました。クラスごとに決まった一文

字「真、龍、笑、志」の草書に挑戦しました。一人1本ずつ用意された穂先の柔らかな筆を使って、「若者らしく勢いよく」の先生の言葉通り筆を運びました。柔らかな文字、繊細な文字、大胆な文字などそれぞれの人柄が伝わる「いいね」いっぱいのできました。ちなみに卒業証書の氏名は、神谷先生に書いていただきます。(写真1、2)

授業参観ありがとうございました。どのクラスも「最高の授業」にしようとして取り組んでいます。(写真3、4)

仲間の発言を聞ききる、仲間の発言に関わらせて発言する、仲間と教え合いながらできるようにするなど、

1.ワークのやり方



- 1]普通に解いてみる
- 2]解けなかった問題の解説をみる
- 3]間違えた問題だけ解く
- 4]一週間や二週間後にもう一度解く



5

規律に加えて力を高め合える授業にしようとして学習委員が中心になって進めています。また、力をつける家庭学習にしようとして働き

かけています。(図6)学年末を迎えテストや課題提出など多くなり、悩んだり苦しんだりするかもしれません。きちんとやりきることで教科学習における地力をつけ、誇れるもの(得意分野)を増やし自力がつくと考えます。適宜状況に合わせて励まし、助言、見守りをお願いします。



3



4